

平成30年産 仙南稲作情報（第2号）

平成30年6月12日発行
宮城県大河原農業改良普及センター
TEL：0224-53-3431 FAX：0224-53-3138
※この資料に関する問い合わせは、
上の連絡先までお願いします。

ほ場を巡回し、皆さんの稲の生育を確認しましょう！

○残苗は速やかに処分しましょう！

○目標茎数に達したら、中干しをしましょう。

1 気象経過（丸森アメダス、6月1日～6月10日）

- 5月の月平均気温は平年より高く（平年差+2.0）、日照時間は平年並みとなりました。
- 6月に入ってから、平均気温は平年より高く（平年差+2.8）、日照時間は平年より多くなりました（平年比140%）。

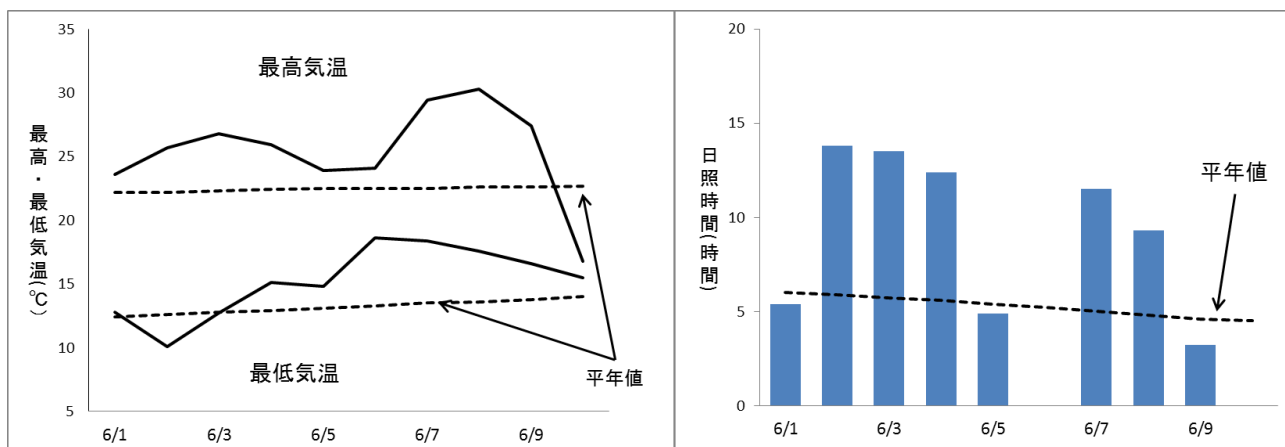


図1 6月に入ってから気象経過（丸森アメダス、6月1日～6月10日）

2 管内の生育状況

【6月11日調査結果】

(1) 主要品種、全体の概要

- 南部平坦の「ひとめぼれ」については、平年と比較し「草丈：やや長め」「茎数：多い」「葉数(生育の早晚)：進んでいる」状況となっています。
- 西部丘陵の「ひとめぼれ」については、「草丈：やや長め」「茎数：少なめ」「葉数：進んでいる」状況となっています。
- その他の調査ほ場については、田植時期等の関係から、茎数、葉数の単純比較は出来ませんが、葉数については前回調査から2枚前後多くなっているほか、茎数も順調に確保されています。
- 葉数は通常10日で1枚程度進みますが、前回調査から2枚前後増加していることから、田植え時期が例年どおりの圃場では、生育は、かなり進んでいる(10日程度早い)と思われます。

□ 皆さんのほ場と場所や品種、田植日が近いところのデータを参考にして下さい。

表1 管内の生育調査結果（6月11日）

No	ほ場所在地	品 種	田植月日		草 丈			茎 数			葉 数			葉 色 (GM)		
			本年	前年	(cm)	平年比	前年比	(本/m ²)	平年比	前年比	(枚)	平年差	前年差	平年差	前年差	
1	角田市野田	ひとめぼれ	5/14	5/8	34.7	104	101	396.6	159	152	9.4	1.4	1.8	43.0	0.9	0.8
2	大河原町金ヶ瀬	ひとめぼれ	5/8	5/7	36.8	124	129	414.5	139	167	8.1	1.3	1.1	42.2	▲ 1.0	▲ 2.3
3	角田市島田	つや姫	5/22	5/15	33.8	110	107	170.9	92	84	7.3	0.2	0.8	39.5	▲ 1.4	0.1
4	白石市小原	ひとめぼれ	5/16	5/17	27.9	105	101	122.9	74	146	7.6	0.8	1.9	38.8	1.1	2.8
5	蔵王町宮	まなむすめ	5/19	5/8	30.7	91	93	236.3	68	80	6.3	▲ 1.1	▲ 1.0	42.4	1.2	2.3
6	七ヶ宿町湯原	やまのしずく	5/23	5/26	23.0	108	119	62.7	95	127	5.6	0.2	0.6	30.6	5.8	5.7

◆平年値は前5か年(H25~29)の平均値

※白石市小原「ひとめぼれ」(調査2年目)蔵王町「まなむすめ」(調査初年度)のため、「西部丘陵地帯」の平年値との比較

角田市「つや姫」については「播種量」が前年「150g/箱」に対し、今年は「230g/箱」となっている。(密苗に近い播種量)

(2) 「だて正夢」(粘りの強い低アミロース米)

- 草丈は前年よりも長く、茎数も多い状況となっています。葉数も前年より進んでいます。
- 前回から葉数が2枚程度増えていることから、生育はかなり進んでいる状況です。

表2 「だて正夢」の生育調査結果（6月11日）

ほ場所在地	地帯区分	品 種	田植月日		草 丈		茎 数		葉 数		葉 色 (GM)	
			本年	前年	(cm)	前年比	(本/m ²)	前年比	(枚)	前年差		前年差
角田市鳩原	南部平坦	だて正夢	5月9日	5月6日	43.2	121.0	332.9	164.8	8.3	1	45.7	5

表3 田植日の近い「ひとめぼれ」との比較(茎数)

品種 (栽植密度)	田植日	6/11までの経過日数	株当たり 植付本数 (A)	6/11株当たり 平均茎数 (B)	一本当たり分 げつ出現数 (B-A)/A
だて正夢(60株)	5月9日	33	3.6	18.7	4.2本
ひとめぼれ(50株)	5月8日	34	5.4	26.4	3.9本

• 茎数が増加しにくい品種ですが、今年の生育調査結果では、「分けつ」の出現数は「ひとめぼれ」とほぼ同数です。

3 今後の管理

【病 害 虫 防 除】(6/6 県病害虫防除所発表のデータより)

① 葉いもち

< 発 生 予 報 >

発生時期：「平年並」(発生開始期, 7/1~5)。 発生量：「平年並」

< 防除のポイント >

□ 残苗(補植用苗)は、早急に処分しましょう。

残苗はいもち病に感染しやすく、放置するといもち病の発生源となり、最大半径1km程度まで発病が見られる可能性があります。

□ 葉いもち予防剤を箱施用していない場合は、

発生してからの防除では効果が期待できないので、予防のために6月15日~20日頃に粒剤を散布しましょう。

- 葉いもちは直接収量や品質に影響を与える穂いもちの伝染源となりますので、水田をこまめに見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

② イネドロオウムシ

< 発生予報 >

- ・幼虫の加害盛期：「平年並」（6/21～25）。発生量：「やや少」

< 防除のポイント >

- ・発生状況をよく観察し、下記の密度を超えたら防除しましょう。

表3 イネドロオウムシに対して防除の必要性を判断する目安

	防除を必要とする目安
イネドロオウムシ	産卵盛期（本年予想：6/6～10）の卵塊密度は、100株当たり80個です。

【 雑草防除 】

- ・ほ場に残っている雑草の種類と葉齢や稲の葉齢を確認し、適切な剤を選んで、適期に処理しましょう。

❑ 最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。

❑ 農薬使用の際に飛散防止対策を講じましょう。

【 水 管 理 】

- ・日中の水温が高くなる浅水管理（水深2～3cm）で分けつの発生を促し、目標茎数の早期確保を目指します。
- ・入水は早朝または夕方に行い、日中は止水します。入水を日中に行うと、水口付近の水温・地温が低下し、生育ムラの原因となるので避けましょう。
- ・生わらや未熟堆肥をすき込んだほ場では、ガス（硫化水素）が発生し、生育が阻害されることがあります。ガスが出る場合は一時落水して、ガス抜きと土壌への酸素供給を行いましょう。
- ・目標茎数（450～500本/m²）に達したら、中干しをしましょう！

表4 株当たりの目標茎数

植付株数	目標茎数
50株/坪	30～33本/株
60株/坪	25～28本/株
70株/坪	21～24本/株

※茎数の数え方：主茎と分けつの数を数えます。分けつは、葉が2枚以上ある茎を数えます。

【 中 干 し 】

- ・今年産の生育は、平年より10日程度、進んでおり、茎数の増加も早いようです。
- ・目標茎数（目標穂数）を確保したら、根の活力向上、無効分けつの発生抑制、土壌物理性の改善のため、中干しを行いましょう。
- ・中干しの程度は、田面に小さな亀裂が入り、足跡が付く程度の固さまでとし、遅くとも幼穂形成期までには終わるようにしましょう。
- ・中干し終了後に、急に湛水状態にすると土壌の還元が進み、中干しをしない場合よりも、酸素不足になり根を傷めやすくなります。
- ・中干し終了直後は走り水程度とし、徐々に湛水状態に戻します。

4 直播栽培における管理のポイント

【6月11日調査結果】

○水稻直播き栽培（鉄コーティング湛水直播き（点播）：品種「ひとめぼれ」）

- ・苗立ち本数が73本/㎡と「ひとめぼれ」の生育目標（60本/㎡）よりも多くなっています。
- ・草丈：前年並み，茎数：やや少なめ，葉数：やや進んでいる状況となっています。

表5 「直播き栽培」の生育調査結果（6月11日）

ほ場所在地	地帯区分	品 種	播種月日		苗立数(本/㎡)		草 丈		茎 数		葉 数	
			本年	前年	本年 (5/31)	前年 (5/29)	(cm)	前年比	(本/㎡)	前年比	(枚)	前年差
蔵王町小村崎	南部平坦	ひとめぼれ	5月11日	5月12日	73	65	15.5	95.7	75.0	81.6	4.4	0.6

【水 管 理】

- ・特に鉄コーティング直播き栽培は，倒伏しやすいことから，本葉4葉期に7日間程度落水し，根張りを向上させましょう。
- ・水温を上昇させ，分げつの発生を促すため，浅水管理を行いましょう。
- ・目標穂数（ひとめぼれ：450本/㎡）の80%程度を確保したら，溝きり・中干しを実施しましょう。
※中干しは移植栽培よりも強めに実施しましょう！！

【雑草防除】

- ・ほ場に残っている雑草の種類と葉齢や稲の葉齢を確認し，適切な剤を選んで，適期に処理しましょう。

【いもち病防除】

- ・播種同時施用や種子処理剤の施用を行っていない場合は，粒剤による防除を，6月中～下旬頃を目安に行いましょう。
- ・一旦発病すると移植栽培より急激に広がる場合が多いので，葉色の濃いところや枕地などで病斑がないか，こまめに確認しましょう。

○平成30年度宮城県農薬危害防止運動実施中（6/1～8/31）

農薬による事故を未然に防ぎ，消費者の皆さんに安全・安心な農産物を届けるため，農薬の使用に当たっては最新の登録情報を確認し，適正に使用しましょう。

最新の農薬情報は，農林水産省ホームページ（<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>）で確認できます。